

# 進路室だより⑥ 小論文編



## 今回は小論文&先輩たちの失敗談について

境高の生徒は国公立大学2次（前期・後期）試験に小論文を7割程度受験するので特集を組みました！

### ● そもそも小論文ってなに？

小論文は、問われていることに対して「私は、～と考える。なぜなら、～だからだ。」というように意見とその理由を筋道を立てて説明し、相手を説得する文章のこと。

ポイントは論理性や説得力の高さ。作文とは違うことを知っておこう！

### ● 小論文の出題形式は？

大きく分けて5つに分類

①テーマ型    ②課題文型    ③データ型    ④融合型(②+③の型)    ⑤教科型

求められる出題形式や字数は各学校で違う。希望する進学先の情報を調べておこう。

小論文の書き方の基本は

1. 原稿用紙の使い方を確認する(全員が持っている国語便覧を活用)
2. 漢字の間違いがいいこと(国語に限らず、すべての教科共通)
3. 課題文やデータがある場合は、内容を正確に読み取る(普段の授業の積み重ね)

#### 小論文の対策

- 今、何が問題となっているのか。
- 自分はその問題をどう考えているのか。
- 具体的な解決案はなにかあるのか。

知識とアイデアが問われます。  
常日頃、新聞やニュース、本などから  
自分なりの考えを持つことが大事です。

#### 過去の出題例

鳥取大学(医)  
『情報化社会が医療に与える恩恵と弊害について考えを述べよ(600字)。』

福岡教育大学(教育)  
『あなたが教師になって、中学生に「勉強することの意味」について考える授業をするときに、どのようなことを大切に指導しますか(300~400字)。』

北九州市立大学(法)  
『課題文における筆者の主張を踏まえて、監視カメラを用いた国家による監視の強化について賛成か反対か。あなたの見解を述べなさい(400字)。』

### ● お知らせ

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 1月15, 16日 | 1, 2年生：総合学力テスト（1年生:16日のみ） |
| 1月16, 17日 | 3年生：大学入学共通テスト             |
| 2月25, 26日 | 3年生：国公立大学前期試験             |
| 3月8日      | 3年生：国公立大学中期試験             |
| 3月12日     | 3年生：国公立大学後期試験             |



## ● 先輩たちの失敗談

センター試験の自己採点を終えたとき、最初に思ったのは「あのときもっと勉強していれば…」です。後悔はありませんでした。

私の通っていた高校では、2年生の1月頃から受験生0学期と呼ばれ、クラスでも休憩時間に勉強する人が少しずつ増えていたように思います。その一方で、私は部活動に熱中し、勉強などほとんどしていませんでした。部活が終わった夏の時点でも、弱点教科は分かっている、という勉強をしたらいいのか分からず、とりあえず問題集をやればいいのかと思っていました。当時は電車通学だったので、電車内で単語帳をすると決めては、何度も途切れて、継続することができませんでした。

さらに、後悔は私の受験に対するあまい考えもあります。当時の私は、大学受験も高校受験みたいなものだから、なんとかなるだろうと思いテレビやパソコンをよく見たり、使いました。こういったことが、今の現状をもたらしていると自覚しています。まず私がやらなければいけないのは、どの教科のどの分野が弱いのか正確に把握することです。それをした後に、目標を細かく決め、カレンダーに書くなどして見える化をすることです。

私が受験を失敗した理由は三つあります。

一つ目、好きな教科ばかり重点的に勉強して、嫌いな教科の勉強をおろそかにしたことだと思います。

二つ目、勉強時間が少なかったからです。土日の過ごし方は、ちょっと勉強→スマホ→絵を描くといっただらけた生活でした。これでは落ちるのは当たり前だと振り返ってみて思いました。

最後三つ目は、センター試験終了から2次試験の間の過ごし方が悪かったからだだと思います。私はセンター試験の点数が普段の模試よりも100点近く上で判定でも、2次でよほどひどい点数を取らない限り受かるだろうと色々な人から言われていました。2次試験当日、見たことあるなどか、前にやった時は解けたのに今とけないといった問題ばかりでした。これはその問題が根本的に理解できていないまま何となくで解いていたのが原因だと思います。

大学生活を夢見て、勉強に本気で取り組めていませんでした。今になって、もっと勉強すればよかった、最後の最後で気を緩めなければよかったとすごく後悔しています。

不合格に至ったのは、大きく分けて二つ理由がある。

まずは前者、高校生なら誰もが持ち歩くであろう「スマホ」である。もとい、スマホに負けた自分である。いや、スマホというよりは「自制心の欠如」であろうか。「自らを制するものは受験を制す」なんて言葉はどこかに転がっているだろうが、その通りであることはもはや自明である。

そして後者は、「自尊心」である。中学の頃は本当に頭が良かった。向かう所敵なし、俺は天才である、という自尊心は少なからずあった。授業はほとんど眠りについていたし、夜は部活で疲れて即就寝、なんて生活をしていただけだから、当然のことながら定期テストでは、ほぼ平均点。真ん中くらい。それでも何故か、やればできる男という自分の腐ったレッテルをはがすことができずに3年。部活の引退を迎え、始まった受験勉強。1年でやれることなどたかが知れている。基礎の欠如からあっけなくセンターは散り、逃げた大学に不合格、泣いても戻って来ないのはお金と時間である。とまあ、これらの二つの理由から、私は死んでもなりたくなかった、免罪符持ちのニートになったのである。

僕は塾でずっと受験勉強をしていたのですが、自分で好きな時間に休憩してよくて、最初の頃は、自分でできがいいところまで出来たら休憩できてすごくいい、と思っていました。でも日が経つにつれて休憩始めてからも1時間以上経っているという日も、決して少なくはありませんでした。

もう受験まで日にちがないとの焦りから、やっていない分野もたくさんあり、授業中に内職をするようになりました。また、どうせ最近ずっと授業聞いてないから今さら聞いてもという気持ちも出てきて、疲れたら居眠りをすることも決して少なくはありませんでした。ただ、今となって考えてみれば授業はみんな聞いている、もしこの授業で習ったことが試験当日に出たら、みんな解けるのに自分だけ解けないのです。これは損もいいところだと思います。

僕は、いろいろ考えてみて、自分には受験で一番大切な基礎固めが出来ていなかったと感じました。基礎固めをするときに参考書よりも何よりも授業が大切であると受けるようになった今感じております。

やるべき今を積み上げれば、なりたい未来がきっと近づいてくる



私たちが後悔しないように今からがんばらないとね。  
時間は有限さ。さ、勉強勉強！